

発行: JVCシニアクラブ
会長: 菅沼 喜久次

■ご挨拶

3月11日に発生した三陸沖を震源とする大地震とそれによって引き起こされた津波により被害を蒙られた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

多くの方が亡くなられ、まだ数多くの行方不明者がいるなかで、けんめいな捜索が続けられています。家が流され田畑を失い、職場も失ってしまった方が多くの避難所で不自由な生活を強いられています。

さらに東京電力福島原子力発電所の事故が発生して、放射線災害も起きてしまいました。この影響は首都圏にも及び野菜・飲料水などの摂取に注意が喚起されています。

計画停電による混乱も各所で起こっており、この地震の凄まじい破壊力というものを痛切に感じさせられました。

JVCシニアクラブ会員の皆様におかれましてはいかがでしたでしょうか。被災地の皆様が忍ばれるご苦労を思い、私たちにも出来得る救済の手を差し伸べていきましょう。今後、ご協力をお願いいたしますのでよろしくをお願いいたします。

余震もまだ続いているようです。皆様におかれましては身の回りには十分に気をつけられ、お元気にお過ごしください。

■解体が進む横浜工場

昨年12月に横浜工場のお別れ会が開催されましたが、年が明けて着々と解体工事が進められてきました。

写真は3月始めに入江の本社ビルから撮影されたものです。食堂のあった技ビル、横浜第2工場、第4工場は取り壊されて既にありません。体育館のある第5工場は、ビクターの大看板が撤去され、建物全体が白くカバーされています。

私たちの古巣としての思い出が無くなってしまふのは残念なことです。新たな使用者の便利な活動拠点としてこの地が生まれ変わっていくことを願っています。



■トピックス：アラブ諸国の政変と東日本大震災

2月22日にニュージーランドで地震が起きて、日本人を含む多数の死者が出ました。さらにアラブ諸国において一般市民のデモが続発し、チュニジア、エジプトでは大統領が交代する事態となり、リビアでは内戦状態で多くの死者が出ていました。これらは新聞では連日のようにトップニュースとなっていました。

しかし3月11日以降、これらのニュースがほとんど影を潜めてしまいました。それほど、今回の東日本大震災は日本国民は言うに及ばず、世界各国の人たちに与えた影響が大きかったといえるでしょう。

アラブ諸国の不安定は日本にとってみると、原油価格の高騰で経済活動への影響が懸念されていました。地震後の日本では、被災による経済活動への影響があまりにも大きくて、彼の地の政変に目を向ける余裕が無くなってしまったかのようです。

しかし、一つ一つの国家の安定というものが世界のバランス取れた発展に重要なことであるのは言うまでもありません。

日本では復興促進のために政権の大連立構想も出てきていますが、アラブ諸国においても早く安定した国内体制を確立してほしいところです。

■東京支部・千葉支部 宿泊旅行を実施

千葉支部は1月28-29日(金・土)に福島県いわき市の「スパ・リゾートハワイアンズ」に、東京支部は2月20-21日(日・月)に群馬県の草津温泉に、それぞれシニアクラブとしては初めての宿泊旅行を行い、懇親を深めました。



千葉支部



東京支部

■いよいよ統一地方選挙！

4月に入り、統一地方選挙の火蓋が切られました。

4月10日には都知事選をはじめとして各地で投票が行われますが、引き続いてその他の自治体で4月24日に投票日を迎えます。

私たちシニアクラブの会員である西川せいしさんが流山市議会議員に初挑戦、現職の横須賀市議の伊関こうじさん(日本ビクター労組)が再選を目指して、最後の追い込みにフル活動中です。皆様からも応援をよろしくお願いします。



伊関こうじ氏 西川せいし氏

■事務局から

首都圏では桜が咲き、お花見の季節となりました。大震災の被災地のことを思うと、あまり浮かれた気分になれないところですが、この時期に桜の花を愛でるのは日本人の心の文化の一つだと思います。

震災の大混乱の中で被災された方々の規律ある行動は世界から賞賛されました。日本の成熟した文化というのを感じます。皆様の暖かい心を被災地の方々に送るべく、別紙の通り「カンパ」を実施します。ご協力をよろしくお願いいたします。

事務局長 田代 周